

2004 . 6

# 白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ  
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>  
白石区民公式サイト「shiroishi.org」  
<http://www.shiroishi.org/>

年五回ほど、海外との文化交流を目的に、世界各国で開催される展覧会がある。東京にある「海外芸術交流協会」という団体が主催するこの展覧会には、絵画、書道、工芸など、さまざまな分野の日本の芸術家たちが出品する。出品した芸術家たちは、作品の展示だけでなく、現地へ赴き、その国の芸術家たちとの交流に参加したり、芸術関係の学校を訪問したりする。兼松さんもその一人であり、六年前から油絵を出品。英語は片言しか話せないが、「言葉は通じなくても折り紙を一緒に折ったり、ジェスチャーで通じ合えるもの。わずかでも日本のことを教えられることがうれしい」と笑う。

兼松さんが趣味で油絵を描き始めたのは四十三歳のとき。学生時代からいつか油絵を描きたいと思い続けてきた彼女は、短期間だが知人が教えてくれるという話に飛びついた。思っていた通りの楽しさに引き込まれ、翌年には油絵サークルでの活動を開始。市民芸術祭にも出品するようになり、平成二年には奨励賞を受賞した。「油絵と出会って、行動範囲も視野も広くなり、本当に良かった」としみじみ語ることが絵画の魅力という兼松さんは、主に風景画を描く。もともと、きれいな景色を見に行くことが大好きで、その



今月の

人

アマチュア画家

兼松

信子さん

(六三)

(南郷通三丁目在住)

自分の感動を表現できることが絵の魅力。たくさん刺激を受けているんな絵を描きたい。

ときの感動を絵に表現する。そのダイナミックで迫力ある絵は、男性が描いたものと同違われることが多い。今後は描くだけでなく、定期的に個展を開き、「多くの人に絵を見てもらい、その評価を刺激や励みに自分の世界をどんどん広げていきたい」と意気込む。仕事を抱えているため、油絵に割く時間は決して多くはないが、目標は自分が納得のいく画集を出版すること。「絵を見た方から、心が癒される、気持ちが悪くなる、よく言われるんです。多くの人にそういう気分を味わってもらえたらうれしいですね」。兼松さんが筆をおく日は、まだまだ先の話になりそうだ。

編集 白石区役所総務企画課広聴係  
☎003-8612  
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1  
☎861-2400 内線224  
FAX860-5236